

森と木のクリエイター科

本学「森と木のクリエイター科」では、体系的科学・技術を基礎とした、現場における指導的役割を担う人材を育てることを目標に、以下の3つのポリシーに則った教育を行います。

I ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

「森と木のクリエイター科」では、以下に示す能力を身につけ、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の授業時数を修得した学生に対して卒業を認定し、専門士を授与します。

1. 課題解決に必要な観察力・洞察力・思考力・企画力を身につけていること。
2. 円滑で正確な意思疎通を図る能力を身につけていること。
3. 森林・樹木・木材およびその関連産業に関する基礎的な知識を有していること。
4. 各専攻において、以下の能力を身につけていること。
 - [林業専攻]
森林管理の基礎知識を有し、持続的な森林経営のための施業や安全管理技術を理解し、目的と現場に応じた合理的な判断ができる能力を身につけていること。
 - [森林環境教育専攻]
森林・里山・山村に関わる幅広い視野を持ち、科学的知識と教育的技能を活かした実務を創造的に推進する能力を身に付けていること。
 - [木造建築専攻]
地域の特徴を把握し、木造建築に関する幅広い知識・技術と自らの軸となる専門性を身につけていること。
 - [木工専攻]
持続可能なライフスタイルを提案できる木工技術を有し、地域の文化や風土を生かし、多角的な視点を持って判断する能力を身につけていること。

II カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施に関する方針）

「森と木のクリエイター科」では、「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力を身に付けるため、次のような編成方針、実施方針に基づいて教育を実施します。

編成方針

1. 現地現物主義による実習時間を十分に確保する。
2. 森林から木材、そして人の暮らしに至る全体の知見を学ぶことができる共通科目を配置する。
3. 分野横断的な学びを促進するため、他専攻の授業も受講できるよう多様な選択科目を配置する。
4. 分野ごとの専門性を深めた教育を行うため、4専攻それぞれの特質に合わせた専門教育課程を編成する。

実施方針

1. 「ディプロマ・ポリシー」に定めた目標を達成するため、科目ごとのシラバスで学生が理解しやすいよう説明する。
2. 問題解決能力を鍛えるため、学生に課題の発見・解決方法の検討・解決策の提案を意識させる、または実行させる授業運営に努める。
3. 成績評価は、公正かつ透明性確保のため、各教科に掲げられた授業の到達目標に対する達成度を目安に採点する。

III アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

「森と木のクリエイター科」の理念や特色を理解し、現場における指導的役割を担う人材に必要な資質を有する、次のような入学者を求めます。

1. 自ら課題を発見し、その解決策を創造的に提案しようとする意欲のある人
2. 協調性を有し、周囲の人と円滑で正確な意思疎通を図れる人

3. 卒業後の職域において指導的な立場で仕事をしようとする、あるいは自ら起業しようとする意欲のある人

各専攻では、以下のような入学者を求めます。

● [林業専攻]

自らが直接的あるいは間接的に林業に関わり、持続的な森林管理に貢献しようとする意志を持つ人

● [森林環境教育専攻]

森林空間や森林資源に対する関心を持ち、自然学校、里山保全、自然環境調査等の仕事に就く、あるいはそれらに関わる起業を目指す人

● [木造建築専攻]

建築計画、木材、木質構造、環境性能など、木造建築に関する高い専門性を身につけ、それらを活かした仕事や活動を目指す人

● [木工専攻]

木工技術で身近な森林資源に付加価値をつけ、森と人の繋がりを取り戻そうとする意志を持つ人

「森と木のクリエイター科」では、林業・森林環境教育・木造建築・木工の各分野において、卒業後に後継従事する強い決意を有し、後継を期待する市町村長または事業者からの推薦がある人を積極的に受け入れています（後継者枠推薦）。